



和佐だより 8・9月号

和歌山市立和佐小学校

令和6年(2024年) 7月18日発行

(学校長) 結城 将光

『一隅を照らす。これ則ち国宝なり。』

この言葉は、平安時代の歴史上の人物で、比叡山に延暦寺を建て、天台宗の祖である「最澄」のことばです。このことばを紹介するのは2回目、1回目は宮小学校で教頭をしている時に、学校だより(宮通信 R2.9月号)の執筆で紹介しました。

このことばの意味は、簡単にしますと「皆の気が付かないような片隅で、社会を照らしているような人が、国の宝なんだよ。」という事です。

たとえ注目されなくても、「自分が置かれた場所でベストを尽くすことが大切である」ということになります。

このことばを書くきっかけになったのは、令和元年に起こった事件でした。日本から遠く離れたアフガニスタンで、凶弾に倒れた日本人医師『中村 哲』氏の記事です。彼は、戦乱や干ばつで荒廃したアフガニスタンで、多くの市民とともに人道・復興支援を35年もの間行ってきました。医師としての活動の他に、用水路の建設に身を投じ、『戦乱は武器や戦車では解決しない。農業復活こそがアフガン復興の礎』と信じ尽力されていました。この最澄のことばは、この中村医師が好きなことばだったのです。正に、「一隅を照らす」精神で救援活動が続けてきた人物です。彼は、現地の人からも愛され信頼されていましたが、反動的な人間により殺されてしまい、人々に惜しまれ悲しみの中で命を終えました。

私は、当時、気づかないところで誰かのために尽力する人の考え方を見習ってほしいという思いで、その時は学校だよりにしたためました。

今回、またこのことばを掲載させていただいたのは、本校にも、人が気づかないところで、みんなのために尽力してくれている子どもが居ることを紹介したかったのです。

まず1人目は、2年生の男の子です。ある日、校長室からたまたま見えたのですが、その子は校長室の直ぐそばのトイレのスリッパを揃えてくれていました。私はその光景を見てすぐにお礼を言いに行くと、その男の子は「1年生の時もやってたから、今でも気が付いたら揃えている。」と言うのです。この言葉を聞いて感動しました。誰に言うのではなく、「さりげなくこの行為が続けている、まだ2年生なのに!」と心が洗われる思いがしました。

2人目は、3年生の男児で、その子はみんなが手を洗う手洗い場をピカピカにしてくれていました。底のシンク部や水道のパイプ部分などを擦り、元の白さが浮き出るように磨いてくれていました。その子に話を聞いてみると、「ほかの人が手を洗う時に、気持ちいいように!」と思ってやっていると言っていました。

どちらの例も、誰かに指示されたわけでもなく、「誰かののためになればいいな!」という思いでこっそりやってくれている行いです。私自身も、やってくれているところをたまたま発見して知っただけのことで、そうでなければ気づきませんでした。もしかすると、この子たち以外にもこのような行いをしてくれている児童がいるかもしれません。

そのような考えを持っている子たちには、『一隅を照らす。これ則ち学校の宝なり!』と言いたいぐらいです。

今は、片隅を照らす小さな灯でしかないかもしれませんが、このことを知った他の児童たちも、「誰かのための灯」を照らしてくれれば、「一隅ではなしに全体を照らす明るい光」になっていくと思います。

ただ悲しいことに、トイレのスリッパでも、このように乱れを直してくれる子も居れば、何も考えずに脱ぎっぱなしの児童も居ることも確かです。きれいに並び替えてもすぐに乱れています。こういうところを見ても、まだまだ他人のことを慮(おもんぱか)れていない現状があります。目に見えることで出来るようになるのも成長ですが、誰にも見えない知らないところで良いことが出来るようになることも大きな成長です。児童ひとり一人が「相手を思いやる」気持ちをもってほしいと強く願います。「あいさつ」「言葉遣い」「お手伝い」など何でもよいので、誰かの心が温くなる何か行いを始めてほしいです。

明日で1学期も終業です。長い夏休みが始まりますが、まだ自分自身の「これだけはやっている!」という事が無い人は、一つでも構いませんから、2学期からでもやり始めてほしいです。それが、和佐の一つの光となりますから。

児童のみなさん、夏休みが明けた2学期からそれぞれの光を放ってください。校長先生は、皆さんがそうなことを願っています。

そして、この夏休みを、怪我なく、病気なく、事故なく、有意義に過ごしてください。

さいごに、保護者の皆様、地域の皆様、ほんとうに1学期間ご理解ご協力ありがとうございました。2学期からどうぞ宜しくお願いします。暑い夏が続きますが、ご自愛くださいますようお願いいたします。

では、児童のみなさん、8月26日(月)の2学期の始業式に、日焼けした明るい顔で、元気に登校して来るのを待っています。【※8月 27日(火)・28日(水)・29日(木)の3日間は短縮期間で、全校給食後下校】





8月・9月の予定

月	日	曜日	行事等
8月	26	月	始業式（11時下校）
	27	火	夏休み作品展①（体育館）半日 ※13:00～17:00
	28	水	夏休み作品展②（体育館）全日 ※9:00～17:00
	29	木	SC
	30	金	ALT ・職員登下校指導 ・修学旅行説明会（6年生）
	31	土	
9月	1	日	
	2	月	生活リズム調べ
	3	火	集金日
	4	水	いじめなくそうデー
	5	木	SC
	6	金	ALT
	7	土	
	8	日	
	9	月	
	10	火	
	11	水	
	12	木	修学旅行1日目（6年生）
	13	金	修学旅行2日目（6年生）
	14	土	
	15	日	
	16	月	敬老の日
	17	火	
	18	水	ALT
	19	木	SC
	20	金	職員登下校指導
	21	土	
	22	日	
	23	月	秋分の日
	24	火	
	25	水	研究授業（5-2）
	26	木	SC
	27	金	
	28	土	
	29	日	
	30	月	ALT

短縮期間(27日～29日)
13:00頃下校

◎就学時健診

10月3日(木)

13:20 受付開始予定

◎運動会

10月12日(土)

午前中に開催予定

【雨天順延】



※あくまで予定ですので、変更する場合がありますご了承ください。

5年2組以外は
12:55頃下校
5年2組は
13:55頃下校



いつもありがとうございます

子ども見守り隊の皆様や保護者の皆様には、児童の登下校の見守り活動・ボランティア等において、お世話になりました。

2学期からもどうぞ宜しくお願いします。



夏休み中、熱中症にお気をつけください。HPにも熱中症警戒アラート情報がわかるようにリンクを貼っていますので、ご利用ください。

「やさしい言葉はたとえ簡単な言葉でもずっとずっと心にこだまする」

この言葉は、マザー・テレサが語ったもので、他人に対して優しく接することが大切であるというメッセージです。簡単な言葉でも、周りの人に感謝の気持ちを表したり、励ましの言葉をかけたりすることで、その温かさや思いやりが相手の心に残り、心に深く刻まれ、絆を深めることができます。親としても、子どもたちに対してやさしい言葉をかけ、愛情を示すことが大切です。子どもたちは大人の言葉や態度に敏感であり、やさしい言葉が子どもたちの心に残ります。その結果、信頼や絆が築かれ、子どもたちが成長する上で良い影響を与えることができます。

長い夏休み、子どもたちと一緒に過ごす時間も増えると思います。「ありがとう」「大好きよ」こんな声掛けをいつもより意識して増やしてみるのはどうでしょう。お家の方の「大好き」の言葉が何よりも子どもたちの心の栄養となるのではないのでしょうか。